

平成30年度 県下中学校柔道大会 実 施 要 項

- 1 主催 公益財団法人鹿児島県柔道会
- 2 後援 鹿児島県中学校体育連盟
- 3 期 日 平成30年6月3日(日)
※ 審判会議・監督会議 9時00分
※ 開会式 9時30分
- 4 会 場 鹿児島アリーナ武道場
- 5 内 容
 - (1) 団 体 戦
 - ア 男子1校1 チーム=監督1名、選手5名(他に補欠2名)
※ チームとしての成立は、3名以上とする。
※ チームの編成は自由配列とし、5名に満たないチームは後詰めとする。
※ 補欠の変更は、相互入れ替えとする。
 - イ 女子1校1 チーム=監督1名、選手3名(他に補欠1名)
※ チームとしての成立は、2名以上とする。
※ チームの編成は自由配列とし、2名の場合は先鋒を空ける。
※ 補欠の変更は、相互入れ替えとする。
 - (2) 個 人 戦
 - ア 男子無差別 1校1名(団体戦に出場しない学校は、2名までの出場を認める。)
 - イ 女子無差別 1校1名
- 6 参加資格
 - (1) 選手は、平成30年4月2日現在で15歳未満で、鹿児島県内の中学校の生徒であること。
 - (2) 転校後6ヶ月未満のものは出場できない。ただし、一家転住等やむを得ない場合、又は、特別な理由がある場合は主催者の認可があればこの限りではない。
 - (3) 平成30年度全日本柔道連盟の「団体登録」、「競技者登録」、「指導者登録」をしていること。
 - (4) 監督は、学校長が認めた指導者であること。
- 7 参加料 団体戦=1チーム3,500円(男子)2,000円(女子)
個人戦=個人戦のみ出場する選手500円
※ 大会当日「受付」で納入する。
- 8 競技規則
 - (1) 国際柔道連盟試合審判規定(新规定2018)及び少年大会特別規定による。
 - (2) 「優勢勝ち」の判定基準
 - 団体戦=「技有」または、「指導2差」とする。
 - 個人戦=「技有」または、「指導2差」とする。得点差がない場合は延長戦により勝敗を決する。延長戦(ゴールデンスコア)は時間無制限とする。
 - (3) 試合時間は、3分間とする。
 - (4) トーナメント方式による。
 - (5) 団体戦における勝ちチームの決定は、次の順による。
 - ア 勝ち点による。
 - イ 勝ち点が同等のときは、内容による。
 - ウ 内容も同等のときは、代表戦は、引き分けの試合の中から抽選で1試合を選び、ゴールデンスコアで決する。ただし、本規則に定められていない事態が生じた場合は、出場者の中から抽選で選ぶ。
- 9 表彰 第1位から第3位までを表彰する。(第3位決定戦は行わない。)
- 10 参加申込み 平成30年5月10日(木)必着で、郵送及びメールの両方で必ず申し込みすること。
- 11 組 合 せ 主催者において決定する。
- 12 その他
 - (1) 脳震盪対応について
 - ア 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診療を受け、出場の許可を得る。
 - イ 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
 - (2) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療関係において、的確な治療を行うこと。選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。
 - (3) 選手の参加については、あらかじめ各保護者の承諾を得ること。
 - (4) ゼッケンは、必ず周囲及び対角線にも縫いつけること。
 - (5) 試合による負傷については、試合場での応急処置のみとする。
 - (6) 当日は、駐車場の混雑が予想されるので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
 - (7) 柔道衣・帯については九州・全国大会では全柔連規格の柔道衣を着用になります。
 - (8) 出場者は、「スポーツ安全保険」等に加入しており、健康であること。
 - (9) 個人で靴を管理するために、各自ビニール袋を準備すること。